

## 令和6年12月分 清水税關支署管内 貿易概況（速報）の要旨

## 1. 清水港

輸出総額は1,993億円（対前年同月比2.8%の減少、比率ベース：4カ月連続の減少）、輸入総額は1,175億円（同7.3%の増加、3カ月ぶりの増加）であった。差引額は818億円（同14.3%の減少）の輸出超過となった。

品目別では、輸出は「加熱用・冷却用機器」、「プラスチック」などが増加したもの、「原動機」、「科学光学機器」、「自動車の部分品」などが減少した。

輸入は「魚介類及び同調製品」、「無機化合物」などは減少したものの、「液化天然ガス」、「大豆」、「金属鉱及びくず」などが増加した。

地域別では、輸出は「アメリカ」、「アジア」が減少、「EU」が増加した。輸入は「EU」、「アメリカ」が増加、「アジア」は減少した。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
清水港	1,993億円	▲2.8%	1,175億円	+7.3%	818億円	▲14.3%
	4カ月連続の減少		3カ月ぶりの増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 加熱用・冷却用機器	62億円	2.7倍	輸入	増加品目	(1) 液化天然ガス	148億円	+30.6%
		(2) プラスチック	69億円	+39.7%			(2) 大豆	27億円	全増
		(3) 二輪自動車類	261億円	+7.8%			(3) 金属鉱及びくず	28億円	7.4倍
	減少品目	(1) 原動機	235億円	▲21.4%		減少品目	(1) 魚介類及び同調製品	140億円	▲18.0%
		(2) 科学光学機器	106億円	▲28.2%			(2) 無機化合物	2億円	▲88.4%
		(3) 自動車の部分品	150億円	▲19.5%			(3) 科学光学機器	17億円	▲38.5%
	主要地域 増減	アメリカ、アジアが減少、EUは増加				主要地域 増減	EU、アメリカが増加、アジアは減少		

（参考）ドルレートは、152.48円（前年同月比3.8%、5.56円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税關長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。

## 2. 田子の浦港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額(▲は輸入超過)	伸率
田子の浦港	12億円	+29.7%	20億円	▲29.5%	▲8億円	▲57.4%
	2カ月連続の増加		2カ月連続の減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 写真用・映画用材料	5億円	+96.9%	輸入	増加品目	(1) 石炭	3億円	全増
		(2) 精油・香料及び化粧品類	3億円	+96.1%			(2) とうもろこし	9億円	+19.7%
		(3) 電気計測機器	1億円	2.6倍			(3) パルプ	1億円	+80.2%
	減少品目	(1) 金属鉱及びくず	98百万円	▲63.1%		減少品目	(1) 木材及びコルク	—	全減
		(2) 有機化合物	13百万円	▲61.5%			(2) 非金属鉱物製品	—	全減
		(3) 無機化合物	66百万円	▲19.1%			(3) 有機化合物	5億円	▲7.5%
	主要地域 増減	アメリカ、EUが増加、アジアは減少					アメリカが減少、アジア、EUは増加		

## 3. 御前崎港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額(▲は輸入超過)	伸率
御前崎港	416億円	+38.9%	13億円	+8.4%	403億円	+40.2%
	4カ月ぶりの増加		3カ月ぶりの増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	257億円	+53.7%	輸入	増加品目	(1) 鉄鋼	7億円	2.2倍
		(2) 自動車の部分品	52億円	+34.6%			(2) 粗鉱物	1億円	全増
		(3) 無機化合物	13億円	+40.0%			(3) 木製建具及び建築用木工品	1億円	2.1倍
	減少品目	(1) 楽器	28億円	▲12.8%		減少品目	(1) 木材及びコルク	1百万円	▲99.8%
		(2) 二輪自動車類	9億円	▲19.8%			(2) プラスチック	6百万円	▲51.6%
		(3) 原動機	7億円	▲7.1%			(3) 無機化合物	—	全減
	主要地域 増減	アジア、EU、アメリカが増加					アジア、アメリカが増加、EUは減少		

## 4. 静岡空港

輸出入実績なし